

指導と評価の計画 第2学年(12時間)

			時間	ねらい・学習活動	関心 意欲 態度	思考 判断	技能	知識 理解	評価方法
はじめ 1時間			1	○オリエンテーションで学習の見通しをもつ。 ・学習のねらいを理解する。 ・学習の進め方を理解する。 ・柔道衣の着方を確認する。 ・礼法の確認をする。 ・準備運動・補強運動を理解する。	①				観察
な か 10 時間	相手の動きに応じた基本動作から既習技の復習に取り組む。	【ねらい1】 自分に合った得意技を身につけられるよう練習に取り組む。	2	○準備運動をする。 ・特性を生かした準備運動・補強運動をする。	②				観察
			3	○受け身の練習をする。 (後受け身・横受け身・前回り受け身)	④				観察
			4	○固め技の練習をする。 (けさ固め・横四方固め・上四方固め) ・抑え込みの条件の確認をする。 ・抑えるポイントを理解する。 ・約束練習をする。 ・乱取り練習をする。 ・崩しを理解する。		①			観察
			5	○投げ技(既習技)の練習をする。 ・膝車・支えつり込み足の復習 ・体落としの復習 ・大外刈りの復習 ・大腰の復習 ※崩し・体さばき・足運びを練習する。			①		観察 学習ノート
			6			③			観察
			7				①		観察 学習ノート
			8	○投げ技の練習をする。 ・大内刈りの練習 ・小内刈りの練習 ・払い腰の練習 ・背負い投げの練習 ※まわし技系、刈り技系、支え技系について理解する。	③				観察
			9			②			観察 学習ノート
			10	○固め技の練習をする。 (けさ固め・横四方固め・上四方固め) ・抑え込みの入り方を練習する。 ・約束練習をする。 ・乱取り練習をする。			②		観察
			11	○立ち枝の乱取り練習に取り組む。	①			②	観察
			まとめ 1時間	【ねらい3】 得意技を使って、投げたり抑えたり攻防し合う。	12	○乱取り練習に取り組む。 ・積極的に技をかける。 ○簡易試合を行う。 ・投げ技から寝技への変化を練習する。 ○学習のふりかえりを行う。			③